

令和 3 年 度
博 物 館 長 研 修
実 施 要 項

期 間 令 和 3 年 10 月 6 日 ~ 10 月 8 日

主 催 文 化 庁
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

令和3年度博物館長研修実施要項

1 趣 旨

新任の博物館長に対し、社会教育施設としての博物館の役割と機能、管理・運営・サービスに関する専門知識、また、博物館を取り巻く社会の動向などについて学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。

令和3年度テーマ：「博物館を通じた持続可能な共生社会の構築－多様な主体との連携－」

2 主 催

文化庁

国立教育政策研究所（社会教育実践研究センター）

3 協 力

公益財団法人日本博物館協会

4 期 間

令和3年10月6日(水)～10月8日(金)（3日間）

5 対 象

都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長及び関係独立行政法人等が推薦する次の者

- (1) 主として登録博物館、博物館相当施設又は博物館類似施設の館長・副館長に就任し2年未満の者
- (2) 上記(1)と同等の職務を行うと主催者が認めた者

6 定 員

50 人

7 受講方法等

- (1) 研修の実施及び受講方法

次を主会場とし、Web会議システムアプリケーション「Zoom」を使用してオンライン（同時双方向型）による講義を行う。

受講者は、すべてオンラインにより本講座を受講する。

(主会場)

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43

T E L 03-3823-8420・8681

(2) オンライン受講するための要件等

受講者がオンラインで受講するために必要な要件等は次のとおりです。

ア ハードウェア

| 項番 | 項目 | 内容（用途・要件等） |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | パソコン | <p>講義資料（大容量データ）の受渡しのため、当所指定の外部オンラインストレージサービス（大容量ファイル送受信システム）を使います。</p> <p>（研修前）</p> <ul style="list-style-type: none">・講義資料のダウンロードのため、大容量の講義資料（50MB以上）をダウンロード・保存等が十分に行える空き容量があること。・外部オンラインストレージサービスにアクセスできること。 <p>※自治体等の勤務先のパソコンを用いる場合、外部オンラインストレージサービスへのアクセスが制限されている場合があります。</p> <p>（研修期間中）</p> <ul style="list-style-type: none">・オンライン講義に参加（視聴）するにあたり、インターネットに常時継続・安定して接続できること。 <p>例) Web会議システムアプリケーション（Zoom）や動画の映像及び音声途切れることなく出力されること。</p> |
| 2 | Webカメラ・マイク ※ヘッドセットの使用を推奨 | オンライン講義における質疑応答や出欠確認等に必要です。 |

イ ソフトウェア

オンライン講義や講義資料閲覧等に必要な次のソフトウェアをインストールしていること

| 項番 | 項目 | 用途・要件等 |
|----|---|---------------------------------|
| 1 | Web会議システムアプリケーション（Zoom） | 双方向性のあるオンライン講義を受講するために必要です。 |
| 2 | Microsoft Office （Word2016以上、Excel2016以上、PowerPoint2016以上） | 交流プログラム（グループ協議）やアンケートの記入等に必要です。 |
| 3 | Adobe Acrobat Reader | 講義資料閲覧等に必要です。 |

ウ メール

- ・研修に関する連絡や講義資料のダウンロード案内などをメールにて送付します。上記に記載した要件を満たすパソコンで常時確認可能なメールアドレスを、受講申込書（別紙様式1）の「⑤E-mail」の欄に御記入ください。
- ・当センターからのお知らせは一斉送信メールにて行います。「@nier.go.jp」からのメールが受信できるようドメイン指定を行ってください。特にGmail等フリーメールをお使いの方は、当センターからの一斉送信メールを受信できない等の場合がありますので、必ず各メールシステムの設定を確認し受信ができるよう設定をお願いします。
- ・講義資料のダウンロードを行う際、受講申込書に記載されたメールアドレス宛てにワンタイムパスワードが発行されます。このため、勤務先の代表アドレスや共用アドレスではなく、受講者本人が常時確認できる個人のメールアドレスを記入してください。

(3) 受講環境その他

- ア 他業務や生活等の影響を受けず受講に専念できる適切な場所、及びインターネット通信環境が良好な場所等を確保すること。
- イ 端末又はインターネット環境の不具合があった際に備え、直ちに電話連絡が可能となるようにしておくこと。
- ウ 受講決定後、講座開始前（9月28日（火）を予定）に実施する「接続確認テスト」に必ず参加すること。なお、詳細については受講決定後にお知らせします。

8 主要研修事項、主な内容、研修方法及び講師

別表1のとおり

9 日程

別表2のとおり

10 受講者の推薦手続

都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長及び関係独立行政法人等は、受講希望者の所属する関係機関から受講申込みを受け、適任者を選考の上、令和3年8月31日（火）[必着]までに受講申込書（別紙様式1）及び推薦書（別紙様式2）を国立教育政策研究所社会教育実践研究センター宛てにメール又は郵送で送付してください。ただし、郵送で提出する場合であっても、受講申込書は別途メールで送付してください。

(1) メールで送付する場合

宛先：kenshu7@nier.go.jp

件名：【推薦機関名】令和3年度博物館長研修受講申込書について

(2) 郵送で提出する場合 ※受講申込書は必ずメールで提出してください。

宛先：〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 企画課普及・調査係 宛て
封筒の表に「令和3年度博物館長研修受講申込書在中」と記載してください。

11 受講者の決定

文化庁次長は、都道府県・指定都市教育委員会教育長、都道府県知事・指定都市市長及び関係独立行政法人等の推薦に基づき受講者を決定し、当該教育委員会教育長・知事・市長・法人等に通知しますので、当該教育委員会教育長・知事・市長・法人等は本人に通知をお願いします。

12 修了証書

当該研修の総研修時間数の概ね5分の4以上を受講し、研修の成果等についてレポートを提出した者に文化庁より修了証書を授与します。

※レポート様式は、受講決定後に御案内します。また、提出いただいたレポートの内容については、今後、当センターホームページ等に掲載させていただく場合があります。

内 容：講座を受講した感想と今後の業務改善に向けた取組の提案

1. 講座を受講した感想（300字程度）
2. 今後の業務改善に向けた取組の提案（項目選択後、200字程度）

提出期限：令和3年10月15日（金）12時（必着）

13 受講に要する経費

受講に要する端末使用やインターネット接続に関する費用、また必要に応じ講義資料等を印刷するための費用は、受講者側の負担とします。その他の受講費用はありません。

14 非常変災等について

非常変災等の発生により、研修実施の困難が想定される際は、文化庁と当センターで協議の上、対応について決定し受講者等関係者に連絡します。

15 その他

(1) 新型コロナウイルス感染防止の観点から、当センターの「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」等を踏まえ対策を講じますが、感染拡大の状況により、研修開始前または研修期間中での中止等もあることを御了承ください。

(2) 実施要項についての問合せは、当センター普及・調査係（03-3823-8420・8681）までお願いします。

(別表1)

令和3年度博物館長研修 研修方法・主な内容・講師

テーマ：博物館を通じた持続可能な共生社会の構築—多様な主体との連携—

| 研修方法 | 主な内容 | 講師 |
|---------|-----------------------|---|
| 行政説明 | 博物館と博物館政策 | 文化庁博物館支援調査官 中尾 智行 |
| 基調講演 | これからの博物館に求められる姿 | 多摩美術大学理事長 青柳 正規 |
| 交流プログラム | グループ協議 | 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター職員 |
| 講義 | 今を集める博物館 | 浦幌町立博物館学芸員 持田 誠 |
| 講義 | ユニバーサルの視点を取り入れた博物館 | 九州大学総合研究博物館協力研究員 久留米大学非常勤講師 茂泉 千尋 |
| 事例研究 | 「多様な連携」を取り入れた博物館経営の視点 | 〈講師〉 国立科学博物館調整役（戦略、学習・連携担当） 小川 義和 〈事例〉 和歌山県立博物館主任学芸員 大河内 智之 |
| シンポジウム | 社会教育施設としての効果的な連携の在り方 | 〈コーディネーター〉 公益財団法人日本博物館協会専務理事 半田 昌之 〈登壇者〉 栃木県立博物館教育広報課長 馬籠 和哉 千葉県立中央博物館企画調整課長 島立 理子 |

(別表2)

令和3年度博物館長研修 日程

テーマ：博物館を通じた持続可能な共生社会の構築—多様な主体との連携—

| 月/日 (曜) | 10:45 | 12:15 | 13:30 | 15:00 15:15 | 17:15 |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 10/6 (水) | 9:45 受付 | 10:15 開講式 オリエンテーション | 行政説明 博物館と博物館政策 文化庁 博物館支援調査官 中尾 智行 | 基調講演 これからの博物館に 求められる姿 多摩美術大学理事長 青柳 正規 | 交流プログラム グループ協議 社会教育実践研究センター 職員 |
| 10/7 (木) | 9:30 | 10:45 11:00 | 12:15 | 13:30 | 16:15 16:30 17:15 |
| | 講義 今を集める博物館 浦幌町立博物館学芸員 持田 誠 | 講義 ユニバーサルの視点 を取り入れた博物館 九州大学総合研究博物館協力研究員 久留米大学非常勤講師 茂泉 千尋 | 事例研究 「多様な連携」を取り入れた 博物館経営の視点 〈講師〉 国立科学博物館調整役 (戦略、学習・連携担当) 小川 義和 〈事例〉 和歌山県立博物館主任学芸員 大河内 智之 | ふりかえり 社会教育実践研究センター 職員 | |
| 10/8 (金) | 9:30 | 12:15 | 閉講式 | | |
| | シンポジウム 社会教育施設としての効果的な連携の在り方 〈コーディネーター〉 公益財団法人日本博物館協会専務理事 半田 昌之 〈登壇者〉 栃木県立博物館教育広報課長 馬籠 和哉 千葉県立中央博物館企画調整課長 島立 理子 | | | | |

閉講式終了予定時刻 12:45

令和3年度 博物館長研修 受講申込書

令和 年 月 日

| | | | | |
|---------------|----------|---|---------------------------------|--|
| ふりがな | | ② 生年月日 | | |
| ① 氏名 | | 年 月 日 | | |
| | | ③ 年齢 | | |
| ④ 勤務先 | 施設名称 | | | |
| | (指定管理者名) | | | |
| | 職名 | 常勤/非常勤の別 | | |
| | 所在地 | 〒 | | |
| | | | | |
| TEL | | | | |
| ⑤ E-mail | | | | |
| | | 受信可能なメールアドレスであることを確認しました。(必ず☑すること) | | |
| ⑥ 現住所 | | 〒 | | |
| | | | | |
| | | TEL | 緊急連絡先 (携帯電話番号等) | |
| ⑦ 現職の勤務年数 | | 令和3年8月1日現在 年 か月 | | |
| ⑧ 所属博物館の分野 | | 下記より該当する分野の番号を選択してください。 | | |
| | | (1) 総合博物館 (2) 科学博物館 (3) 歴史博物館 (4) 美術博物館 (5) 野外博物館 (6) 動物園 (7) 植物園 (8) 動植物園 (9) 水族館 (10) その他 | | |
| | | 番号選択 | | |
| | | その他 | | |
| ⑨ 設置・所管・管理の状況 | | 該当する項目をプルダウンから選択してください。 | | |
| | | 【設置】 | ・公立 ・私立 ・国立 | |
| | | 【所管】 | ・教育委員会 ・首長部局 ・その他 | |
| | | 【管理】 | ・直営 ・指定管理 ・一部指定管理 ・その他 | |
| ⑩ これまでの勤務先 | | 該当する項目を選択し、○をつけてください。(複数選択可能) | | |
| | | 博物館 | 国の機関 | |
| | | 都道府県・市町村の一般行政 | 博物館以外の社会教育施設 | |
| | | 学校(小・中・高・大等) | 民間企業(業種) [] | |
| | | 指定管理 | その他 [] | |

(個人情報の利用目的)

本紙に記載された申込者の個人情報(住所・氏名・電話番号など)については、本講習の運営上必要なこと以外には一切使用いたしません。また、申込者の個人情報の漏洩等がなされないよう、国立教育政策研究所において適切に安全管理に努めます。

推 薦 書

令和3年 月 日

文 化 庁 次 長 殿

都道府県知事・指定都市市長
都道府県・指定都市教育委員会教育長
関係独立行政法人の長

令和3年度博物館長研修受講者の推薦について

このことについて、下記の者を推薦します。

記

<五十音順>

| 通し番号 | 所 属 ・ 職 名 | 氏 名 |
|------|-----------|-----|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

【御連絡先】

御担当課名： _____

御担当者名（ふりがな）： _____

電話番号： _____

メールアドレス（共有）： _____

書類発送先〒： _____

書類発送先住所： _____